

介護技術評価で、 一步先行く事業所に



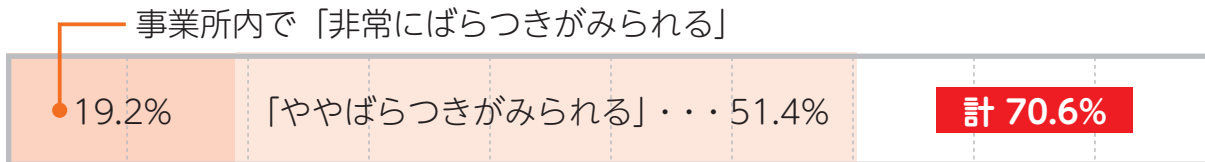
介護プロフェッショナルキャリア段位制度

- ➡ 評価者（アセッサー）が介護技術を業務の中で評価します。
- ➡ 現場で何ができるか（実践的スキル）の証明になります。
- ➡ 段位取得を目標に職員のやりがいやモチベーションの向上をはかり、あらたに介護職を目指す人の増加も目指す制度です。

介護技術のばらつきが課題

- ➡ 介護職員の技術向上については、これまで全国共通のものさしがなく、ばらつきが課題とされてきました。
- ➡ アンケートでは、70.6%の事業所管理者が介護技術のばらつきを認識しています。

評価者（アセッサー）講習参加事業所管理者へのアンケート



「介護職員の介護技術の標準化について」アンケート※より N=881

※平成25年度「介護職員の資質向上（キャリアパス）におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

介護技術評価の導入が全国で進んでいます

- ➡ 平成24年度、平成25年度で全国3,329名の評価者（アセッサー）を養成。
- ➡ 介護キャリア段位制度を契機として、全国事業所内で介護技術評価の導入が始まっています。



「介護職員の介護技術評価実施状況（平成26年1月現在）」アンケート※より

※平成25年度「介護職員の資質向上（キャリアパス）におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

介護職員の介護技術(実践的スキル)の向上やOJTツールとして「活用できる!」と事業所管理者から高い評価を受けています。

「介護職員の介護技術(実践的スキル)の向上に役立つ」・・・86.6%

「介護職員の教育訓練のOJTツールとして役立つ」・・・81.5%

「介護キャリア段位制度の利点について」アンケート※より

※平成25年度「介護職員の資質向上(キャリアパス)におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

その他にも事業所管理者の方々から「活用できる!」の声が多く寄せられています。

- 客観的に自分自身の介護技術レベルを知ることができ、介護職員の資質向上につながる
- 採用時や人事考課の判断基準として活用できる
- 事業所のサービス水準のアピールとして活用できる

「介護キャリア段位制度の利点について」アンケート※より

※平成25年度「介護職員の資質向上(キャリアパス)におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

まずは、事業所内に「評価者(アセッサー)」を配置

- ➡ 介護キャリア段位制度では、各事業所において、介護技術評価ならびにOJTを行う評価者(アセッサー)を配置する必要があります。
- ➡ 評価者(アセッサー)になるためには、評価者(アセッサー)講習を受講して、評価の実施方法を修得する必要があります。
- ➡ 介護キャリア段位制度の評価基準は制度のホームページ上に公表されており、活用することができます。

介護プロフェッショナルキャリア段位制度の
詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

<https://careprofessional.org>

本資料は、「平成25年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「介護職員の資質向上(キャリアパス)におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」の一環として作成したものです。

問い合わせ

一般社団法人 シルバーサービス振興会

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 NP御成門ビル6階
TEL 03-5402-4881 FAX 03-5402-4884